

# PACTWARE 6.1がFDT3をサポートし、デバイス統合の世界が広がります

2023年2月7日



産業用デバイス管理用のFDT技術の進化をサポートする国際的な非営利の業界団体であるFDT Group™は本日、PACTware コンソーシアムが最新のFDT3標準に基づく最新のソフトウェアバージョンであるPACTware 6.1をリリースしたことを発表しました。PACTware 6.1は、FDT3をベースとするスタンドアロンでデバイスの構築環境を提供するソフトウェアの一つです。

このソフトウェアツールのソースコードはPACTwareコンソーシアムの会員に公開されており、この組織は22のオートメーションベンダーから構成され、ユーザーに対してFDT対応のホスト製品を無償で提供しています。

インテリジェントデバイス管理向けの最新のFDT3 Unified Environmentを活用したことで、PACTware 6.1のユーザーは現在のFDT/DTMのインストールベースはもちろん、様々なIIoTアプリケーションに対応している最新のFDT3のウェブベースのDTMも利用することができます。

そして、このリリースではFDI Device Packageもサポートしています。

産業用オートメーションシステムやデバイスのサプライヤーは、IIoTに対応するソリューションの提供が求められています。顧客のニーズに応えるには、サプライヤーが提供するシステムやデバイスが、標準をベースとし、プラットフォームに依存せずに情報駆動によるビジネスモデルに強化できるようにすることが重要になります。この新しいFDT3標準によって、IT/OTデータ駆動の操業による産業用デバイス管理のための統一環境を、FDTベースのソリューションとしてシステムに追加できるようになり、デジタル製造への進路をより加速していきます。

「FDT3へのアップグレードは、次世代のインテリジェントデバイス管理のソリューションを求めているオートメーション市場や多くのメンバーに関心を持ってもらえる重要なステップと言えます」とPACTwareコンソーシアム理事長であるホルガー ザック氏が述べています。「最新のPACTware 6.1アプリケーションでは、ユーザーがデバイスのデータモデルを選択できるよう機能が強化されています。現在、FDIとFDT3 DTMの両方をサポートしていて、製造者やプロトコルに縛られず、幅広いフィールドのコンポーネントを構築できるシンプルでわかりやすいツールです。これを使うことで作業量も最小化でき、アプリケーションの安全性も高まり、トレーニングの必要性も軽減できるのです」

さらに、この新しいFDT3標準は、FDTデスクトップ環境とFDTウェブベースのDTMを完全に網羅しており、分散制御でのクラウドベースのFDTサーバー環境も標準の中で定義しています。FDT3のDTMとFDTサーバーは特にコーディングすることなくOPC UAとモバイルにも対応しています。そのため、ユーザーは容易に使用することができ、またスケーラブルなマイグレーションパスを通してOTデータをITエンタープライズアプリケーションにつなげることも可能となりました。

「PACTwareコンソーシアムはFDT標準をベースとした製品のリーダーでもあります。そのソリューションは今日広く使用され、デバイス構築や運転、メンテナンス手順を簡素化するFDTデスクトップアプリケーションとして最もポピュラーなものです。」とFDTグループのマネージングディレクターのSteve Biegacki氏は述べています。FDT3をサポートしたことで、PACTware 6.1はプラットフォームの将来性を伸ばし、今日利用されている多くのデバイスDTMをサポートしながら、更なるデバイス統合の可能性をも広げていきます。さらに、FDTサーバー環境にはモビリティ作業向けのソリューションが用意され、また、エンタープライズレベルのアプリケーション間のデータ融合にも活用することができます。

PACTware 6.1は以下のメンバーコミュニティサイトからダウンロードができます。

<https://www.pactware.com/de/service/download>.

## FDTグループについて

FDTグループは産業用オートメーションと製造に関わる世界中の会員会社から構成される国際非営利団体です。FDTグループの主な目的は、エンタプライズレベルのネットワークやアセット統合のためのオープンな標準を提供し、プロセスやハブリッド、ファクトリオートメーション市場に向けにセンサーとクラウドを繋いだオートメーションアーキテクチャを革新することです。FDT標準は世界的にもIEC 62453、ISA 103、GB-T 29618-2017で採用され、何百万ものデバイスタイプマネージャ(DTM)で使われています。FDT技術はIIoTやインダストリー4.0の機能を製品に搭載する先進性を製造者とエンドユーザーに提供し、これによりアセット統合の最新化と、重要な操業問題を可視化してパフォーマンスデータにアクセスすることを可能にします。

世界中で、エンドユーザー、製造者、大学、研究所が技術開発、開発ツールの提供、サポート、トレーニング、フィールドトライアルやデモのコーディネート、製品相互運用性に協業しています。

詳しくは

[www.fdtgroup.org](http://www.fdtgroup.org)

## PACTwareについて

PACTwareコンソーシアムe.V.は製造者に依存せずにPACTwareという設定構築ソフトウェアを配布する組織として設立されました。PACTwareの保守と今後の開発はもちろん、この組織の主な役目はユーザーへの最高のソリューションを統合できるオープンなプラットフォームを提供することです。PACTwareのソースコードは無償でコンソーシアムのメンバーに提供されています。各メンバーはこのソフトウェアを自由に使うことができ、また更なる開発も可能です。しかし更なる開発を行う場合はオープンソースとして組織が利用できるようにすることが条件となります。組織はPACTwareの管理人であり所有権を有しています。開発の業務はメンバー会費からまかなわれています。

詳細は [www.PACTware.com](http://www.PACTware.com) ご覧ください。